



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2004-1-28 第639回例会 NO. 14-28 2004-2-4 発行

◎司会 SAA委員会 正房 正孝

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「四つのテスト」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介 会長 大松 誠二
・東京町田RC 東福寺勝昭 様
・岡山西南RC 椎原 裕二 様
・米山奨学生 金 今善 様

◎会務報告 会長 大松 誠二

★第11回定例理事会の報告

①横倉舜三会員の出席免除申請について
クラブ定款第8条第2節(b)によって承認された。

②佐伯和廣会員の退会届について
クラブ定款第11条第8節によって承認された。

③上半期決算について審議 順調に推移している。

④クリスマス懇親会会計報告につて
親睦活動委員会より提出された報告を承認。

⑤下半期の方針について審議

クラブ奉仕の充実を目指す。

(イ) 会員増強を推進する。

(ロ) 例会、親睦をより充実させる。

(ハ) 出席率の向上を図る。

以上の目的をもって各委員会は炉辺会合の開催をお願いします。

★特別事業を記録した記念誌ができましたので配布します。ご精読をお願いします。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

★東京たまがわRCより例会変更のお知らせがきています。メイク・アップの際は事務局でご確認下さい。

★2月・3月の例会予定表を配布します。次回2月4日の例会はウェルサンピア多摩に、2月18日は夜間例会に変更されますのでご注意ください。

★クリスマス例会の決算報告を配布いたします。

◎次年度会務報告 次年度会長 菊池 敏

★2月4日の例会後、サンピア多摩1階ロビーで被選理事会を開催します。次年度役員理事の方はご参集下さい。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員長 平野 行廣



- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名(出席免除者1名)
- ・出席者数 33名
- ・欠席者数 9名(事前MU2名)
- ・出席率 83.3%
- ・欠席者：阿部 華歌、伊澤ケイ子、北村 幸彦、小城 章員、小田 泰機、菅井 信夫、高木 淳光、高野 範城、津守 弘範
- ・補填MU：北村 幸彦 1/14 被選理事会
宮村 宏 1/21 理事会
伊澤ケイ子 1/26 地区R財団委員会
高木 淳光 1/14 被選理事会

1/14 最終訂正出席率 86.05%

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文

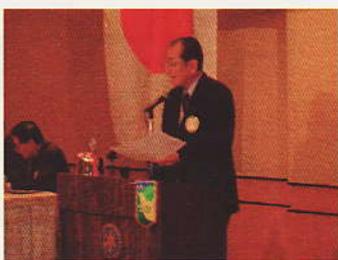
【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝

【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澁川昇・高木淳光・由井真司・小田泰機

◎上半期出席状況

出席委員会 杉田 誠

本年度上半期の会員別出席表を配布いたしました。その中で60%を切っている方（イエローカード相当）が数名おられます。最悪が29.17%の出席率、これはレッドカード相当で反省をお願いします。



◎クラブ会報委員会

委員長 赤尾 恭雄

本日配布されました「ロータリーの友」2月号の横組み6ページ、「ROTARY AT WORK」に特別事業「車椅子テニススクール」が掲載されましたのでご報告します。



◎ニコニコBOX

親睦活動委員会 萩生田政由



東京町田RC 東福寺勝昭 様

お世話になります。大松会長、藤本幹事、ご苦労様です。

大松 誠二 寒い日が続いています。風邪に気をつけて。

藤本 吉文 お客様の町田RCの東福寺様ようこそ。

伊藤 英也 今日は楽しい夜例会でニコニコ。

由井 眞司 久しぶりに教壇より開放されました。皆様お久しぶりです。

足立潤三郎 東福寺様ようこそ。

田島真由美 クラブ奉仕委員会、お茶代のつり銭です。

◎特別事業実行委員会

委員長 吉沢 洋景



過日行なわれまして特別事業「車椅子テニススクール」「白楽荘訪問」の記録誌が出来上がり、本日配布いたしましたのでご覧下さい。なお、4ページ下段の中段、「奉仕の思想」は「奉仕の理想」の誤りですので訂正願います。

本日の合計¥11,563 (累計¥596,561)

◎1月誕生祝・・・おめでとうございます。

親睦活動委員会

杉田 誠 吉沢 洋景 桧垣 昭 小城 章員、高木 淳光各会員





◎点鐘

会長 大松 誠二
(例会担当：赤尾 恭雄)

2月は「世界理解月間」です。

同月間中、クラブは、世界平和に不可欠なものとして理解と親善を強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行なうよう要請されている。(手続要覧より)

2月23日は「世界理解と平和の日」

「ロータリー創立記念日」です。

2月23日は、最初のロータリー・クラブ会合が開かれた記念日であり、世界理解と平和の日として遵守されている。各クラブは、この日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならない。(ロータリー章典 43. 110.) (手続要覧より)

◆ロータリー創立99年です。

人付き合いが下手なお陰で、祖父は生涯損をしていた。仲間付き合いがうまくいけば、彼の人生はもっと豊かで楽しかったことだろうとポールは思った。それは兎も角、祖父にも憂さ晴らしがあるらしく、寂しそうにしていたことはなかった。夏は広々とした外に出て、ぼんやりと過ごした。特に午前中は、玄関のポーチがお気に入りの休憩所で、家を背にしてポーチの床に座っていた。ポーチに安楽椅子でも置けばよいのにとポールは思ったが、祖父はそんなことは贅沢だと思ったのではないかと。彼はポーチの床の南側に座るのが好きで、時には左足を土の上に置いたり、両足を一緒に並べてポーチの上に伸ばしたりしていた。座る姿勢は別として座る場所だけはいつも同じで、祖父が北側に座っているのを見たことはない。

祖母はウォリングフォードに80年も住んでいたが、生家から約2マイル(3キロ)の所にある「カスケード」(小滝)と言う名所を見に行く暇がなかったことで、どんなに家事に忙殺されていたかが分かった。

ニューイングランドの厳しい冬に備えて、孫に靴下やセーター等を編むことは、祖母には家事の疲れを癒す息抜きだった。祖母は祖母に較べると話し好きだったが、「お喋り」というほどではなかった。



祖母は、祖先のことはあまり話さなかったが、ある飢饉の時、伯父のバックリンが、聖書に出

ているジョセフのように、食べるのに困っている人と穀物を分け合った話をポールに聞かせた。バックリン家の分を取って置いたらと友人が忠告しても、伯父は「いや、皆と一緒にひもじい思いをした方がよい」と答えたとのことだった。

祖母がポーチで、籐作りの安楽椅子をゆっくり揺すりながらの息抜きの時間は、彼女にとって家事を一切忘れて過ごす嬉しい夕方のひとときだった。ポールはその傍らで、大理石の階段に座り、祖母が静かに話す昔話に聞入ったり、手植えの地味な花が咲いている庭を眺めながら過ごすこともあった。

たまに、通りがかりの近所の人が、ポーチの祖母を見付けて立ち寄り世間話をしたり、希にはわざわざ祖母を訪ねてくれる人もいたが、そんな時は祖母を囲んだ井戸端会議が花盛りだった。

(コーナー担当：赤尾 恭雄)

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 27

学校問題に関する限り、ウォリングフォードに戻ってきたことは幸運だったとポールは思った。高校の校長は、新しくショウ校長に替っていた。皆は校長のことを姓で呼んでいた。校長はウォリングフォード出身だったが、校長と親しい仲だという人はいなかった。ポール達が校長について知っていることは、名前はウィルで、一時、村の南にある町で、アルバイトとして肉体労働をして大学の学費を稼いだこと、ミドルベリー大学を極めて優秀な成績で卒業したと言うことくらいだった。

ショウ先生がウォリングフォード高校の校長になったのは、26才、年俸600ドルだった。先生は高潔、活発、そのうえ美男で、しかも身なりもきちんとしていて、若い男の子達のよい手本になった。自宅と学校の間を時計の針のように常にきちんと同じ時刻に歩いて通っていた。今でも、先生カラテン語の本を手にして、肩をいからせて顎を前に出し、右を見るでも左を見るでもなく、我が家の前を歩いて行ったことが目に浮かぶ。足を引きずり、眉毛を逆立て、意地悪そうな、深く窪んだ目をして歩いていたイカボッド・スペンサー前校長と、ショウ先生を較べると雲泥の差があった。ショウ先生は子供達を可愛がり、矯正用の鞭は殆ど使ったことがなかった。

ポールの少年時代、バーモントの学校では単語のスペルの勉強がとても盛んだった。そして、とても出来る子と、恐ろしく出来ない子がいた。スペルの上手な子はジョージ・ヒットで、下手なのは「インキー」パローだった。しかし、「インキー」は他の科目で優秀だった。

「インキー」は頼みの綱ジョージを大いに利用しようと隣に座ってカンニングに精を出した。ジョージは「インキー」を巻く手はないかと考え始めたがそのチャンスがきた。ショウ校長が「インキー」にアメリカの大河「ミシシッピ」のスペルを言えと命じたが、ジョージの策略に掛かって正解できず椅子にうずくまってしまった。

しかし、数年後、「インキー」はアメルスト・フットボール・チームの名ライト・ガードになり、その後Congregational教会の牧師になり、名声を天下に轟かせた。しかし、「ミシシッピ」のスペルが出来たかどうかは保証の限りではないとポールは冗談ながら思った。

(コーナー担当：赤尾 恭雄)



『ロータリー知識』 入門編 ロータリー文庫に関して (ロータリー文庫運営委員会資料より)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして昭和45年に設立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や資料など、約19,000点が収集・整備され皆様のご利用に備えております。ロータリーの研究や諸活動のご参考に、活用されることをお待ち致しております。

利用方法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

書籍入手のお問い合わせ

コピーサービス申し込みは、ロータリー会員のみに限ります。

コピーサービスの申込は

FAXをお願いします。 03(3459)7506
なお、お申し込みの際は書名・著者名の他に分類番号を御記入頂きますようお願い致します

文庫資料を御希望の場合は

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先を御紹介いたします。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈いたします。
- ・ビデオテープは実費(1巻800円+送料)でダビングをいたします。

貸出し

視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申込用紙有)で貸出し致します。

登録資料の紹介

「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。

(コーナー担当：遠藤 二郎)